

ボクシング 2018AIBA 女子世界選手権大会

並木月海
なみき つきみ

世界選手権で銅メダル

身長 152cm と小柄ながらも外国人選手にも引けを取らない並木士長 (写真は練習時)

体育学校初の快挙

11月12日から25日までの間、インド(ニューデリー)で行われた2018AIBA女子世界選手権大会に晝田瑞希陸士長、並木月海陸士長の2名が出場し、並木士長が銅メダル獲得の成果を収めた。フライ級で出場した並木士長は、初戦から準々決勝までウズベキスタン、トルコ、アイルランド、ブラジルの選手と戦い、持ち前のフットワークとスピードを活かした積極的な攻撃で勝ち進んだ。迎えた準決勝で対戦したのは、世界ランキング第2位のロシア選手に勝ち進んできたリオ五輪カザフスタン代表のSHEKERBEKOVA Zhaina選手。並木と同じサウスポーで前回大会銅メダリストの選手だ。試合開始直後、並木の攻撃を封じようとするカザフスタン選手に猛然と攻撃をしかける並木だったが、後頭部へのパンチでレフリーから注意を受ける。第3ラウンドでは、両者ゴングと同時に前へ出て積極的に攻めた。並木はボディー



体育学校初の快挙となったメダル獲得

アッパーからの攻めや接近戦での連打など多彩な攻撃で優勢かと思えたが、残念



準決勝(カザフスタン選手との対戦/右)

ながらポイント0対5でカザフスタン選手の勝利。惜しくも第3位にとどまる結果となった。しかし試合直後の会場では、並木の健闘に賞賛の拍手が鳴り響いた。

試合後、並木は「今大会には『自分のボクシングが世界に通用するのか?』という思いで臨んだ。その結果、『世界に通用する部分とそうではない部分』を明確に理解することができた。また、世界フライ級の中での自分のポジションも確認することもできた。今後はテクニカル、フィジカル、メンタルなどあらゆる面で『どうトレーニングし、どう強化していくか』を考え高めていきたい。」と決意を示した。

総合成績

バンタム級 陸士長	ひるた みずき 晝田瑞希 (岡山県出身)	対 ZHOLAMAN Dina (カザフスタン)	WP 1-4	敗退
フライ級 陸士長	なみき つきみ 並木月海 (千葉県出身)	対 YOKUBOVA Aziza (ウズベキスタン)	WP 3-2	勝利
		対 CAKIROGLU BUSE NAZ (トルコ)	WP 3-2	勝利
		対 SMITH Ceire Rose (アイルランド)	WP 3-2	勝利
		対 JESUS DE SOUSA Graziel (ブラジル)	WP 5-0	勝利
		対 SHEKERBEKOVA Zhaina (カザフスタン)	WP 0-5	敗退

※WP: 審判の判定によるポイント

